

など開催
建設協に
11日

建設関連企業の 外国人活用で

セミナー

建設関連企業の「外開かれる。外国人労働者を紹介するセミナー」が、12月11日（木）に横浜市で、建設需要の高まりを



活躍が期待される外国人材(企業への配属前)

背景に、不足が見込まれる技能労働者。政府は4月の閣僚会議で、即戦力となり得る外国人材活用のための新制度導入を決めた。

その後、国土交通省は建設分野技能実習を修了した外国人建設就労者の受け入れを行う上で、手続きやスキーム、取り決め事項などを定めた「外国人建設就労者受入事業に関するガイドライン」を公表。2015年4月から同事業をスタートする予定である。

講師は、ベトナム人材採用・育成支援事業などを手掛けるワール

ディング（東京都新宿区）取締役副社長の矢代基裕氏。「建設業界における外国人活用の今後の展開」活用スキームとマネジメント上の事例紹介」をテーマに、①「外国人建設就労者受け入れ事業」について②日本の建設業界における外国人材③建設関連企業の東南アジア展開事例④建設関連企業の外国人材活用事例」を紹介する。

日時は12月11日（木）午後1時30分～3時30分。会場は神奈川県建設会館（横浜市中区）。参加費は無料。神奈川県建設業協会（神建協）と神奈川県建設産業団体連絡協議会（建産協）が主催。建通新聞社が協力。

問い合わせ先は神建協労務課 電話045(201)8452。